

いせまめ通信

発行：中日新聞
 伊勢市南郡店
 高須新聞店①
 伊勢市南郡町乙422-1
 ☎ 0596-24-1720
 fax0596-24-1728

毎月25日頃発行
 第4号
 平成24年10月28日



たーくん、
 この鳥居なんだけど
 さっきの「宇治橋の鳥居」と
 少しだけ違うところがあるの
 何だかわかる？

手水舎から
 御手洗へ



2つの鳥居を
 くらべて
 よおしく見ると
 分かるかも！



↑宇治橋の鳥居

あつ！
 鳥居の柱に
 神がついてる！

これは「第一鳥居」
 ここからが本当の
 意味での神域なの
 明治時代の初期までは
 宇治橋を渡った内側にも
 神官たちが暮らす
 家屋があったそうよ。
 だから、本来の神域は
 この第一鳥居からって
 ことになるのよ。



第一鳥居を
 くぐると
 五十鈴川の
 御手洗が
 あるから、
 手水舎でなく
 ここでお清めを
 してもいいの。
 緑豊かな自然と
 澄みきった水。
 んん！
 とっても気持ち
 いい！

「手水舎」での作法って？



神宮参拝の基本的なマナーを
 知っているのと、気持ちも清々しく
 参拝できるのではないのでしょうか。
 ◎今回は、手水舎での
 作法を紹介します。

③
 左手を清め、最後に
 残った水でひしゃくの
 柄をすすぎ、ひしゃくを
 静かに伏せて戻します。

②
 再び右手にひしゃくを
 持ちかえて、左手の
 手のひらに水をうけ、
 口をすすぎます。

①
 右手でひしゃくを持ち、
 水をすくって左手を清め
 ます。左手にひしゃくを
 持ちかえて右手を清め
 ます。

- 気をつけることは・・・
- 何度も水をすくわないこと
 - 直接ひしゃくに口をつけないこと



たーくんたちはどこを歩いているかな？

第1号から順番に右ページの
 まんがを読んでいくと・・・
 ……実は、たーくんたちは内宮の参拝ルート
 を歩いているんです。今は手水を終えて
 第一鳥居をくぐり、五十鈴川・御手洗のところ
 です。

☆こんにちは 高須新聞店で

いつもご愛読ありがとうございます
 「鳥居」とは、様々な説がありますが、
 出入り口をあらわす門が起源だそうです。
 宇治橋の大きな鳥居は、内宮のシンボリックな
 存在ですが、実はほかにも第一鳥居、
 第二鳥居などがあります。門をくぐるたび、
 神域である実感がわいてくるようですね。
 伊勢の神宮の鳥居は「神明鳥居」の中でも
 「伊勢鳥居」と言って独特のものだそうです。
 たまには視点を変えて、こんなところにも
 注目してみたいかがでしょうか（*・*）



今こそ！
 これからもたーくんたちと一緒に、
 少しずつ、参道を進んでいきましょう！

次号は11月25日発行予定。おたのしみに